

日本パペットセラピー学会 第15回大会

日本パペットセラピー学会第15回大会は、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により
本年2021年11月14日（日）・21日（日）にわけてウェブ会議により開催されました。

テーマ

パペット 手に取ってみようよ

【日 時】

2021年11月14日（日） 13時～15時30分

11月21日（日） 10時～15時30分

【大会形式】

パソコンまたはスマホからZoomで参加 または大会両日のZoom録画したものを大会終了後に視聴する形で参加。

大会のプログラム

11月14日（日）

総合司会 岡 信行



13:00 開会あいさつ 出山 雅章

13:05～14:05

教育講演

「パペットはどうやって人と人をつなぐのか」（録画）

座長 原 美智子

豊富な腹話術とボランティアの経験の中から、人とのつながりについてお話ししていただきました。

城谷 護（腹話術の会きずな主宰）



11月21日（日）

総合司会 岡 信行（副大会長）

10:00

開会あいさつ

出山 雅章（大会長）

10:05～10:50

大会長講演

座長 高村 豊（副理事長）

「使ってみようよ パペットの力」

出山 雅章（大会長）



「パペットセラピーってなんなんだろう」という疑問から、パペットセラピーの可能性を探るというお話でした。



日本パペットセラピー学会 第15回大会

大会長講演

大会テーマ

パペット 手に取ってみようよ



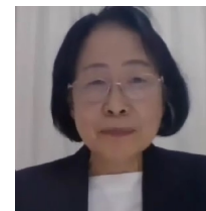
10:50～11:35

座長 中下 富子（副理事長）

パペットレッスン

岡 信行（副大会長・ソックスパペット工房・バンブリーナ主宰）

パペット操作の基本から、盛り上げるちょっとしたコツなど、岡さんの楽しいレッスンでした。



11:40～12:10

レッスン&コミュニケーションタイム

コーディネーター 東 義也（理事）



参加された方のこんな新聞記事も紹介されました。

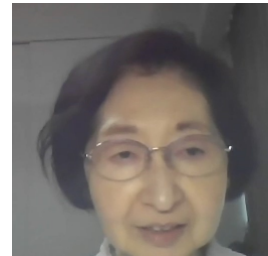
ブレイクアウトルーム（小グループ）に分かれ、参加者のパペットレッスンおよび交流をおこないました。レッスンだけでなく、参加者同士、情報交換などいろいろな交流ができました。

12:10～12:30 全体シェアリング

13:30～14:45

研究発表

座長 近喰 ふじ子（理事）



○「療育におけるオリジナルパペットの活用について」

安藤 倫子

（日本腹話術師協会インストラクター）



保育園でコミュニケーションを取るのが難しい自閉症の子A君に対してオリジナルのパペットを活用することで指導、療育に効果を上げた実践例が発表されました。

○「パペットを使った保育導入 ―子どもたちの視線を集めるパペッター―」

東海林 照子

(全日本あすなろ腹話術師協会師範 支援教育専門士)



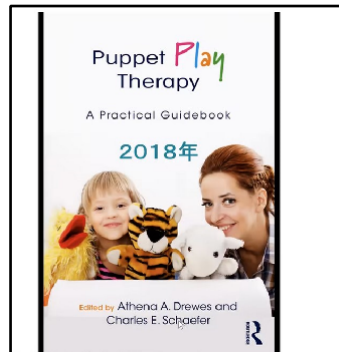
保育教室内での
パペットの使い方

- はじまりがあって、終わりを作る
- パペットの登場の仕方
- 教室内的子どもたちへの視線の合わせ方

保育士対象に、パペットを保育の中でどう活用するかについてのワークショップを行い、それを通じて保育活動の中でパペットを広める試みが発表されました。

○「心理療法でパペットを用いるにあたっての留意点 ―海外の文献に学ぶ―」

森平 直子 (相模女子大学人間社会学部教授)



海外の論文の紹介がありました。
日本よりもパペット遊びがポピュラーな欧米では、プレイルームにはパペットが置かれていることが多いということでした。

14 : 45 ~ 15 : 30

パペットセラピー実演 ―パペットで話を聴く― (録画)

出山雅章 (大会長・流山市立西初石小学校教諭)

座長 千葉 俊一 (理事)



パペットを使ってカウンセリングのようにお話を聞いてみたらどうなるだろうかという試みでした。実演動画を見てみなさんにたくさんのお意見を出していただきました。パペットセラピーの可能性を

考える機会になったのではないのでしょうか。

1 5 : 3 5

閉会あいさつ

岡 信行（副大会長）

今回の大会はこじんまりとした中でもみなさんの協力で楽しく充実した大会になったのではないかと思います。

来年はまた違ったパペットセラピーの学びがある大会になることと思います。みなさん、ふるって御参加ください。